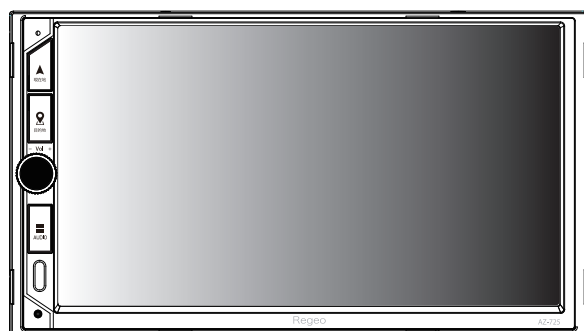


Regeo

フインチワンセグ内蔵メモリーナビゲーション
AZ-725



取扱説明書 ユーザーズマニュアル



保証書別添付

このたびは、フインチワンセグ内蔵メモリーナビゲーションをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取り下さい。

<販売店様>

接続・取り付けが完了しましたら、お客様へ本書をお渡しください。

目次

はじめに

安全上のご注意(必ずお守りください)	1
商品構成一覧表	4
本体各部の働き	6
基本操作	7

操作方法

テレビを観る	11
ラジオを聴く	14
メディアを再生する	16
VTR	20
AUX	21
Bluetoothを使う	22
画質調整	36
DUAL MAP(2画面)	37
本体設定	38
ボリューム操作	53
SCREEN SHADE	54

付属品の使用方法

取り付け・接続について	55
電源・ケーブルの接続方法	57
本体の設置方法	60
GPSアンテナの設置方法	61
フィルムアンテナの貼り付け位置について	62
フィルムアンテナを貼り付ける	65

その他

トラブルシューティング	68
本機で利用できるメディアとフォーマット	70
その他	71
仕様	72

はじめに

本書について

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージです。
- 各画面の画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり、色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 配線接続の誤り等により生じた、車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類を使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 市販品のケーブル類およびディスク、USB メモリ等の破損について、弊社は一切の責任を負いかねます。

取り付けについて

- 車両への取り付けは、必ず本書の「安全上のご注意（必ずお守りください）」、各取り付け説明ページ内容に従って正しく行なってください。
指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
この場合、弊社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、本取扱説明書はお客様へお渡しください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

 警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
 注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
   禁止	絶対にしてはいけない事項
 強制	必ず守るべき事項

警告

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。
(ヒューズ:15A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

 運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ハンドル付近など）前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

 ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用すると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示物を注視しない

 走行中の操作や表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

 車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように配線する

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き直し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

警告

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける



車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12Vマイナスアースの車で使用する



DC12Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない



煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない



内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

付属品の小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない



小部品を誤って、飲み込むおそれがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない



内部に金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがつかないようにご注意ください。

指示に従って正しく配線、取り付けを行う絶縁処理をする



取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをしないと火災や事故の原因になります。また、使用しないコードの先端に被覆のない場合、その部分が車の金属部分に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線、取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子(－)を外しておく



バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。

機器の通風孔を塞がない



機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

配線、取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する



配線、取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。

注意

車載用以外には使用しない



車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

強い衝撃を与えない



落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない



ショートや断線により、発火や故障の原因になります。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できず機器がずれたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けけない



直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けけない



雨や洗車などで水がかかったり、湿気、ほこり、油煙などが機器内部に入ると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない



強い曲面などに取り付けると、走行中に外れたり、落下したりなど、事故やけがの原因になることがあります。

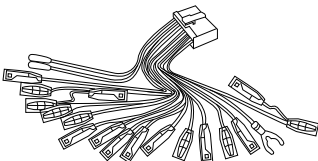
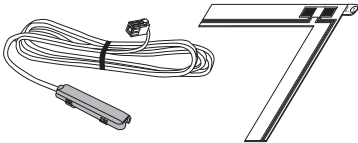
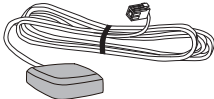
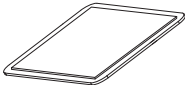
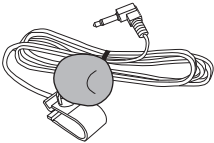
本体背面のヒートシンクに触れない



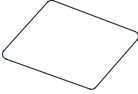
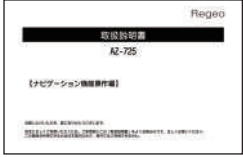
通電中および電源オフ直後は、本体背面にあるヒートシンク部分が高温になる場合があります。直接触れると火傷、怪我の原因になります。

商品構成一覧表

本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。万が一、足りない場合や破損していた場合は、販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。

■ 本体 	■ 電源ケーブル 
■ フィルムアンテナ 	■ GPSアンテナ 
■ GPSアンテナ固定用プレート 	■ 取り付け用ネジ（8本）  ※取り付け時にはこちらのネジをご使用ください
■ マイク 	■ 配線クランパー（8個） 

商品構成一覧表（つづき）

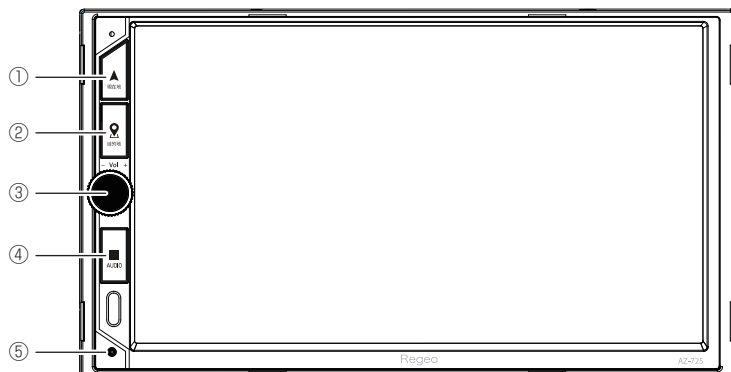
■ クリーニングクロス 	■ ナビゲーション取扱説明書 
■ 保証書 	■ 取扱説明書 

⚠ 注意

- USBケーブルは、本体に直接装着されています（ケーブルの取り外し不可）。
- USBケーブルは、USBメディア用/充電用となります。
- USBメディアは付属されていません。
- USBメディア用ケーブルは、USBカードリーダーを介した接続はできません。
- VTRソース、AUXソースで使用する外部機器接続ケーブルは付属されていません。
- バックカメラやリアモニターは付属されていません（別売品となります）。

本体各部の働き

本機のボタン操作（働き）について説明します。



	名称	働き
①	現在地	地図画面以外時＝ナビ画面に切り替えます ※DUAL MAP画面中は地図全画面を表示します
②	目的地	目的地検索画面を表示します
③	VOLUME	右回し＝音量が上がります 左回し＝音量が下がります ボタン押下＝消音します
④	AUDIO	メインメニュー画面に切り替えます 長押しすると、SCREEN SHADE 画面になります
⑤	リセットボタン	本体を再起動します

基本操作

電源のオン/オフ

電源を入れる

イグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、電源が入ります。エンジンをかけると、本体が起動してオープニング画面が表示されたあと、自動的にメインメニュー画面や地図画面などが表示されます。

電源を切る

イグニッションキーを「OFF」にすると、自動的に電源が切れます。

⚠ 注意

- 音量が大きい状態でエンジンOFFすると、次回エンジンONした場合、大音量で再生されるため、エンジンをOFFする場合やソースを切り換える場合は、音量を下げてから行なってください。
- 再生音が大きいと、起動時やソースチェンジの際、運転の妨げや聴覚障害などの原因となることがあります。
- 電源が切れるまで約15秒かかります。
15秒以内に電源を入れると電源を切る前の状態で復帰します。

基本操作（つづき）

メインメニュー

メインメニュー画面での操作

メインメニュー画面は、本機を使用するためのアクセス画面となります。
本体[AUDIO]キーを押下すると、以下のメインメニュー画面に切り替わります。
メインメニュー画面から各AVソースやナビ画面、設定画面に切り替えることができます。

▼メインメニュー画面（AVソースON中）



▼メインメニュー画面（AVソースOFF中）



⚠ 注意

- ナビメニューの操作については、ナビ画面上のメニューから行うことができます。
※詳細は、ナビゲーション取扱説明書を参照してください
- ソース選択時にソースの音声が一瞬途切れる場合がありますが、故障ではありません。

基本操作（つづき）

ナビゲーション

ナビ画面に切り換えます。



テレビ

ワンセグ放送を視聴できます。



ムービー

USBメモリに保存されている映像ファイルを再生できます。

※デバイスが接続されていない場合や、非対応デバイスの場合、アイコンがアクティブになりません



ミュージック

USBメモリに保存されている音楽ファイルを再生できます。

※デバイスが接続されていない場合や、非対応デバイスの場合、アイコンがアクティブになりません



Bluetoothオーディオ

Bluetooth機器内の音楽ファイルを再生できます。



ラジオ

ラジオを聴くことができます。



基本操作（つづき）

VTR

外部入力端子に接続されている外部機器の映像や音声を視聴できます。
ビデオ映像の入力信号がない場合、
「映像が入力されていません」と表示されます。



AUX

AUX機器の音声を視聴できます。
※AUXソースは音声出力のみとなります



セッティングメニュー

「システム設定」「オーディオ設定」「Bluetooth設定」「カメラ設定」「情報」の変更、確認をすることができます。



セッティングメニュー

AVソースOFFについて

AVソースON中に、メインメニュー画面のAVソース名をタッチすると、現在表示中（再生中）のAVソースがOFFとなります。

AVソースOFF中にAVソース名をタッチすると、AVソースがONになります。

AVソース名をタッチ



AVソースON中

AVソースOFF表示



AVソースOFF

△注意

●消音とAVソースOFFは連動していません。

テレビを観る

テレビソース

メインメニューの「テレビ」アイコンをタッチすると、ワンセグ画面が表示されます。

△注意

●はじめてご使用になる場合や初期化後は、必ず「SCAN（スキャン）」を行ってください。

操作パネルについて

操作をしない状態で数秒経過すると、画面上のタッチキーが非表示になります。
タッチキーを表示させたい場合は、再度、画面をタッチします。

走行規制について

走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。
音声のみお楽しみください。
パーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

基本画面



テレビを観る（つづき）

	名称	説明
1	メニューボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替えます
4	チャンネルボタン	SCAN 後にプリセットされる放送局をワンタッチで切り替えます（未受信の場合、選択できません）
5	スキャンボタン	受信可能な放送局を検索し、受信できる放送局をプリセットボタンに登録します
6	番組リストボタン	プリセットされている放送局リスト画面を表示します
7	番組表ボタン	番組表を表示します
8	放送局サーチボタン	受信レベルが低下して番組が視聴できなくなった場合、自動的に受信可能な中継局を探して切り替えることができます（受信可能な放送局がある場合に限り）
9/11	CH UP/DOWN ボタン	プリセットチャンネルを手動でアップ / ダウンします。
10	テレビ初期化ボタン	テレビソースの設定を初期化します
12	受信電波アイコン	受信電波のレベルを表示します
13	受信チャンネル	現在の視聴放送局名を表示します
14	字幕切換ボタン	視聴番組に複数の字幕がある場合、字幕切り替えを行います ※番組依存となるため、切り替わらない場合があります

△ 注意

- スキャンは環境やエリアによって、数分間かかる場合があります。
- スキャンを行った後、受信ができない場合は、自転車位置を別の場所に移動してから再スキャンを行ってください。
- 特にビル群や山間部、高架下、遮蔽物がある等の環境下では受信しにくくなります。
- 受信できない放送局のチャンネルボタンをタッチしても切り替わらない場合があります。
- 受信感度が低下した際、映像にブロックノイズが発生する場合があります。
- 番組の情報取得ができていない場合、番組表が表示できない（空欄になる）場合があります。
- 受信ができない場合、アンテナの位置やアンテナケーブルの取り回しを確認してください。

📖 メモ

- ・ 放送局サーチの設定値を「中継局」に設定しておくことで、受信状態の良い中継局に自動的に切り替えることができます。

テレビを観る（つづき）

リスト画面



	名称	説明
1	戻るボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替えます
4	放送局チャンネル番号	放送局のチャンネル番号を表示します
5	リスト	選択された放送局に切り替えます リスト画面を上下にスワイプ操作すると、リストページが切り替わります
6	放送局名	放送局名を表示します

⚠ 注意

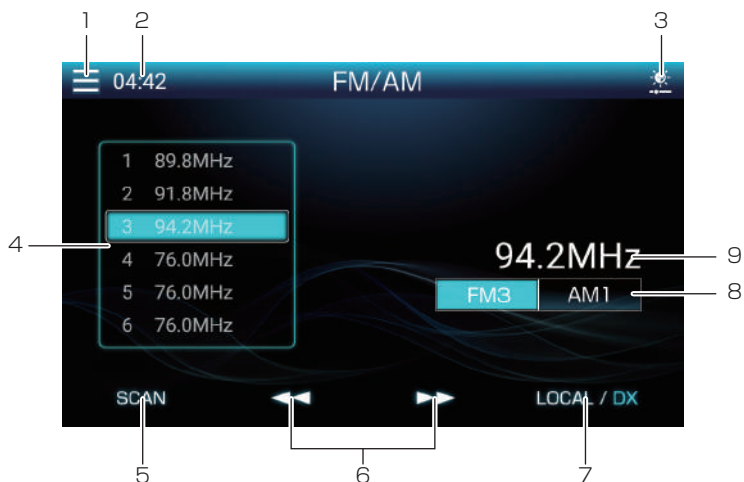
- リストページ表示またはリストページをスクロールした際、リストの読み込みに時間がかかる場合があります。
- スキャン後に登録できないチャンネルはリスト表示されません。

ラジオを聴く

ラジオソース

メインメニュー画面の「FM/AM」をタッチすると、ラジオを聴くことができます。

基本画面



	名称	説明
1	メニューボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替えます
4	プリセットチャンネル	SCAN 実行後、受信可能な放送局をプリセットします リストを長押しすることで、現在の放送局を手動でプリセットメモリすることができます プリセットボタン内を上下にスワイプ操作することでプリセット 1～18 まで表示することができます
5	SCAN ボタン	受信可能な放送局を検索し、受信できる放送局をプリセットチャンネルに登録します

ラジオを聴く（つづき）

	名称	説明
6	SEEK ボタン	・ 短押し：周波数を UP/DOWN します ・ 長押し：現在の受信中の周波数から一番近い受信可能な放送局を探します
7	LOCAL/DX ボタン	・ LOCAL：SCAN する際、ノイズの少ない信号の強いチャンネルをプリセットします ・ DX：SCAN する際、取得可能なチャンネルを探します（ノイズが多いチャンネルも取得します）
8	バンド切替ボタン	[FM] をタッチするたびに、FM1/2/3 とバンドが切り替わります [AM] をタッチするたびに、AM1/2 とバンドが切り替わります
9	周波数表示	現在の周波数を表示します

メモ

- ・ SCANは、受信感度の良い放送局を順番にプリセットチャンネルに登録するため、プリセットチャンネル（1～18）に登録されない場合があります。

メディアを再生する

USB-MUSICソース

USBメモリ内に音楽ファイルが保存されている場合、USBソースを選択すると、音楽ファイルを再生することができます。

⚠ 注意

- デバイスの判別をするために、再生するまでに時間がかかる場合があります。
- USBメモリを本機に接続しても、自動的にUSBソースには切り替わりません。

基本画面

| USB (MUSIC) の場合



	名称	説明
1	メニューボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	ジャケット画像	ジャケットの画像を表示します
4	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替えます
5	リスト戻しボタン	リストを一つ前に戻します
6	リスト TOP ボタン	リスト画面をルートディレクトリに戻します
7	フォルダ名表示	フォルダ名を表示します

メディアを再生する（つづき）

USB-MUSICソース

	名称	説明
8	ファイル名表示	ファイル名を表示します
9	再生 / 一時停止ボタン	・ 再生：一時停止を行います ・ 一時停止中：再生を行います
10	プログレスバー	プログレスバー（再生時間、総時間）を表示します ※プログレスバーをドラッグ操作すると任意の分秒にジャンプすることができます
11	ランダムボタン	ランダム再生を ON/OFF します
12/14	ファイル UP/DOWN ボタン	ファイルをアップ／ダウンします
13	リピートボタン	以下のように繰り返し再生する範囲を切り替えます ALL/FOLDER/FILE
15	情報表示	ファイル名 / アーティスト名 / フォルダ名を表示します ※タグ情報がない場合は、「Unknown」表示または空欄になります

△注意

- メモリによっては、プログレスバーに表示される再生時間や総時間は、実際に再生している時間と誤差が生じる場合があります。
- リピート再生中、リピートの再生範囲を超える操作（ファイルリピート中にフォルダアップなど）を行うと、リピートの再生範囲が変更されることがあります。
- ファイルによっては、表示内容が正しく表示されない場合があります。
- 再生できないファイルが混在していると、再生できないファイルはスキップされます。
- 再生できないファイル（拡張子）が混在していると、正しく動作しなかったり、予期せぬ動作になる場合があります。
- 一時停止中にファイルのアップ / ダウンや早送り / 巻戻しをした場合、期待した動作にならない場合があります。

メディアを再生する（つづき）

USB-VIDEOソース

USBメモリ内に映像ファイルが保存されている場合、USBソースを選択すると、映像ファイルを再生することができます。

コントロールパネルについて

映像画面をタッチすると、コントロールパネルを閉じて映像が全画面表示されます。コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。

走行規制について

走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。
音声のみお楽しみください。
パーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

⚠ 注意

- デバイスの判別をするために、再生するまでに時間がかかる場合があります。
- USBメモリを本機に接続しても、自動的にUSBソースには切り替わりません。

基本画面

| USB（VIDEO）の場合



	名称	説明
1	メニューボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	ジャケット画像	ジャケットの画像を表示します

メディアを再生する（つづき）

USB-VIDEOソース

	名称	説明
4	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替えます
5	リスト戻しボタン	リストを一つ前に戻します
6	リスト TOP ボタン	リスト画面をルートディレクトリに戻します
7	フォルダ名表示	フォルダ名を表示します
8	ファイル名表示	ファイル名を表示します
9	再生 / 一時停止ボタン	・再生中：一時停止を行います ・一時停止中：再生を行います
10	プログレスバー	プログレスバー（再生時間、総時間）を表示します ※プログレスバーをドラッグ操作すると任意の分秒にジャンプすることができます
11	ランダムボタン	ランダム再生を ON/OFF します
12/14	ファイル UP/DOWN ボタン	ファイルをアップ/ダウンします
13	リピートボタン	以下のように繰り返し再生する範囲を切り替えます ALL/FOLDER/FILE
15	情報表示	ファイル名 / フォルダ名を表示します ※タグ情報がない場合は、「Unknown」表示または空欄になります

△注意

- メモリによっては、プログレスバーに表示される再生時間や総時間は、実際に再生している時間と誤差が生じる場合があります。
- リピート再生中、リピートの再生範囲を超える操作（ファイルリピート中にフォルダアップなど）を行うと、リピートの再生範囲が変更されることがあります。
- USB-ムービーソース時、再生できないファイルが混在していると、再生できないファイルはスキップされます。
- 再生できないファイルが混在していると、正しく動作しない場合があります。
- 一時停止中にファイルのアップ/ダウンや早送り/巻戻しをした場合、期待した動作にならない場合があります。
- 音楽ファイルと映像ファイルが混在している場合、リスト画面に表示されるのは、現在選択されているメディアモード（MUSICまたはVIDEO）のフォルダ名とファイル名となります。
- リストの読み込み（リスト表示や切り替え）に時間がかかる場合があります。

VTR

VTRソース

外部映像機器（ポータブルプレイヤー）などを接続して、視聴することができます。

⚠ 注意

- 本機と外部機器を接続するには、AV入力用ケーブルが必要となります（RCA接続ケーブル）。
- 本機からの出力音量が小さい場合は、外部機器側の音量を確認してください。
- 外部機器の音量を上げた場合、ノイズが生じる可能性があります。
- 外部機器を接続または切断した際、電気的なノイズが生じる場合がありますが、故障ではありません。
- 全ての外部機器に対応しているわけではありませんので、映像表示できない場合があります。

コントロールパネルについて

操作をしない状態が数秒経過すると、コントロールパネルが非表示となります。
（映像入力時）

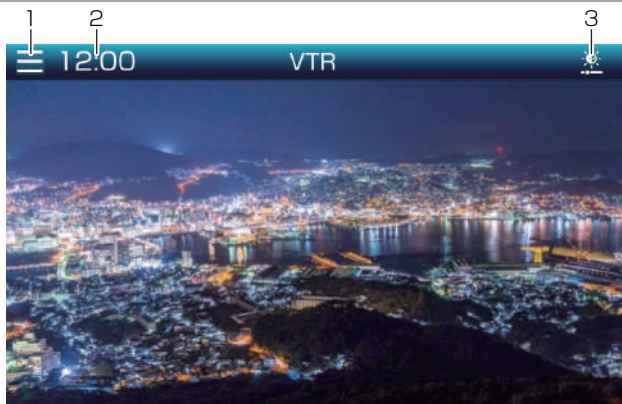
走行規制について

走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。

音声のみお楽しみください。

パーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

基本画面



	名称	説明
1	メニューボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替えます

⚠ 注意

- スマートフォンの映像を表示するための各種RCA変換ケーブルをご使用される際、スマートフォンが本機または別の機器とBluetooth接続されている場合は、音声が出力されない場合があります。その場合、Bluetooth接続を解除してください。
- 接続を解除しても映像出力できない場合、本機では使用できない可能性があります。
※詳しくは、お使いのスマートフォンまたは変換ケーブルの各メーカーへお問い合わせください

AUX

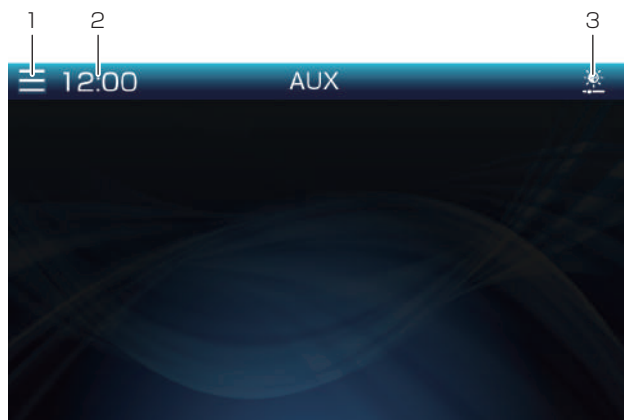
AUXソース

外部音声機器（ポータブルプレイヤー）などを接続して、音声出力することができます。

△ 注意

- 本機と外部音声機器を接続するには、AUX入力用ケーブルが必要となります（φ3.5ミニジャック）。
- 本機からの出力音量が小さい場合は、外部機器側の音量を確認してください。
- 外部機器を接続または切断した際、電気的なノイズが生じる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部機器の音量を上げた場合、ノイズが生じる可能性があります。また、外部機器を充電しながら音声出力すると、ノイズが生じる場合があります。これは、外部機器によるもので、故障ではありません。

基本画面



	名称	説明
1	メニューボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替えます

Bluetoothを使う

Bluetoothデバイスについて

Bluetooth対応の機器を接続することで、Bluetoothオーディオやハンズフリー通話などを行うことができます。

△ 注意

- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周囲の安全を十分に確認した上で、通話は手短に済ませてください。
- 走行中の通話操作やBluetooth機器設定は危険ですので、おやめください。
- 携帯電話接続ケーブルやUSBケーブルなどを使つての接続はできませんので、ご注意ください。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により本機との接続や動作に制限がある場合があります。
- Bluetooth機器（携帯電話機）の操作方法については、各メーカーへお問い合わせください。
- 本機とBluetooth機器（携帯電話機）の互換性については、保証しかねます。
- Bluetooth機器側のバージョンにより、接続ができない場合があります。
- Bluetoothオーディオを使用される場合も、あらかじめ本機に機器登録をする必要があります。
- 携帯電話機端末やOSのバージョン等により、各画面の表示や機能、操作等が異なる場合があります。

Bluetoothについて

- Bluetoothとは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用してBluetooth 対応機器を通して通信できます。

本機では、Bluetooth に対応する携帯電話及びオーディオ機器を接続して利用できます。利用するには本機に機器を登録（ペアリング）する必要があります。

ハンズフリー通話について

- 本機は、ハンズフリー通話ができますが、電話回線状況、使用する携帯電話機、通話相手の環境等により、エコー（残響音）が発生する場合があります。
- エコーを軽減するには、携帯電話本体の音量調整や本機の通話ボリュームの調整を行ってください。※完全にエコーを消すことはできません

データ通信について

- データ通信とハンズフリー通話が同時に使用ができる機種では、Bluetoothを使用したデータ通信時に着信があった場合、機種によっては、データ通信を終了する場合があります。

発着信・通話について

- 携帯電話機のボタンを押して通話や発信をすることができますが、携帯電話の機種により、ハンズフリーができない場合があります。
- AVソースのBluetoothオーディオ使用中に発着信すると、Bluetoothオーディオの再生が一時中断されます。
- 携帯電話によって、着信と通話（発信）音量が個別に調整できない場合があります。
- 携帯電話の機種により、着信中や発信（通話）中に表示される電話番号が、国際識別番号で表示される場合があります。

通話・音楽アプリについて

- 無料通話アプリや携帯電話専用の音楽アプリを使用した場合には、動作保証外となります。また、アプリのバージョンアップに伴い、従来機能していたものが、機能しなくなる場合があります。
- 無料通話アプリや携帯電話専用の音楽アプリを使用された場合、期待した動作にならない場合があります。これは、本機の故障ではなく、アプリ依存によるものとなります。

Bluetoothを使う（つづき）

Bluetoothデバイス登録

Bluetooth機器を使う場合、あらかじめ本機にBluetooth機器を登録（ペアリング）する必要があります。

以下の手順に従って、Bluetooth機器の登録を行ってください。

⚠ 注意

- 登録できるBluetooth機器は、最大2台までとなります。
- すでに2台が登録済みの場合、登録されているBluetooth機器を消去して、新規登録をしてください。

手順1)

セッティングメニュー画面から「Bluetooth設定」をタッチします。

手順2)

「機器登録・消去」をタッチします。

※「Bluetooth AUDIO」→「右下のBluetooth設定ボタン（歯車アイコン）」をタッチすることで、本画面に遷移することも可能です

手順3)

本機と接続したいBluetoothデバイスのBluetooth設定を[ON]にします。

手順4)

- 本機から周辺のBluetooth機器を検索する場合
→「サーチ」ボタンをタッチして、Bluetooth機器を周辺検索します。
- Bluetooth機器側から検索する場合
→Bluetooth機器側に表示される機器名称は「REGEO AZ-725」となります。



⚠ 注意

- ・ Bluetooth機器を検索する場合、携帯電話側のBluetooth設定画面を表示させた状態で行ってください。

Bluetoothを使う（つづき）

手順5)

- 本機から周辺のBluetooth機器を検索した場合
周辺のBluetooth対応機器を検索し、「ペアリング可能デバイス」にリスト表示されます。
接続したいデバイス名をタッチします。
- Bluetooth機器側から検索した場合
接続準備が整うと、Bluetooth機器側に「REGEO AZ-725」と表示されます。

手順6)

- 本機から周辺のBluetooth機器を検索した場合
画面の指示に従い、ペアリングコード入力を行なってください。
- Bluetooth機器側から検索した場合
デバイス側の指示に従い、ペアリングコード入力を行なってください。

手順7)

ペアリングが成功すると、機器が登録されます。

△ 注意

- 本機とBluetooth機器の接続可能距離は約5mとなります。Bluetooth機器が本機と離れてしまうと、音声等が正しく出力されなくなります。完全に接続圏外となった場合、ペアリングが解除されます。
- 接続圏外になった場合、再度ペアリングを行なってください。
- 接続するBluetooth機器により、接続方法が異なる場合があります。
- Bluetooth機器側からの検索やペアリングが正しく行われない場合は、本機からの検索を試してください。
- 周辺のBluetooth機器を検索する場合は、携帯電話側のBluetooth設定画面を表示させないと接続画面が表示されない場合があります（機器依存）。
- Bluetooth機器を検索する場合、機器や環境等により、検索に時間がかかる場合があります。
- ペアリングが完了されると、登録するBluetooth機器に接続プロファイルを設定し、何の機能に使用する機器であるかを自動的に判別します。
- 周辺検索はある一定の時間が経過すると、検索を中止します。その場合、再度検索を行なってください。
- 電話帳・通話履歴表示は、接続されているBluetooth携帯電話と同期を行う必要があります。
- 本機と携帯電話がペアリングされ、同期を許可すると自動的に通話履歴を同期します。

📌 メモ

- ・Bluetooth機器を2台登録することが可能です。
※ただし、Bluetooth機器を2台同時に使用することはできませんので、必要に応じて、1台ずつ切り替え使用してください

Bluetoothを使う（つづき）

Bluetoothデバイス登録解除

手順1)

セッティングメニュー画面から「Bluetooth設定」をタッチします。

手順2)

「機器登録・消去」をタッチします。

手順3)

本機と接続したいBluetooth機器のBluetooth設定を[ON]にします。

手順4)

- 本機から登録解除する場合
→「登録解除」ボタンをタッチして、Bluetooth機器の登録を解除します。
- Bluetooth機器側から登録解除する場合
→Bluetooth機器側の削除方法に従って登録を解除してください。

登録解除ボタン



Bluetoothを使う（つづき）

Bluetoothデバイスのペアリング・ペアリング解除

Bluetooth機器が登録済み状態で、登録されている各Bluetooth機器のペアリング（接続）や接続解除をする場合は以下の手順に従って、ペアリング、ペアリング解除を行ってください。

接続方法

手順1)

「Bluetooth機器登録・消去」画面の[ペアリングボタン]をタッチします。

手順2)

接続されると、ペアリングボタンが[ON]状態に切り替わり、ペアリング完了となります。



接続解除方法

手順1)

「Bluetooth機器登録・消去」画面の[ペアリングボタン]をタッチします。

手順2)

ペアリング（接続）が解除されると、ペアリングボタンが[OFF]状態となります。

メモ

- ・本機への登録が済んでいる状態で、登録されている Bluetooth 機器の切り替えをする際に上記の操作を行ってください。
- ・ペアリング解除されても、登録解除ではありませんので、ペアリングボタンで簡単に再接続することができます。
- ・すでに 2 台の Bluetooth 機器が登録されている状態で、ペアリングする機器を変更する場合は、登録されている機器を一度解除する必要があります。

Bluetoothを使う（つづき）

Bluetooth電話を使用する

ペアリングが完了している場合、各画面から電話をかけることができます。

ダイヤルパッド画面（電話番号を入力して電話をかける）



	名称	説明
1	戻るボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
4	電話帳ボタン	電話帳画面に切り替えます
5	履歴ボタン	履歴画面に切り替えます
6	Bluetooth 設定ボタン	Bluetooth 機器登録・消去画面に切り替えます
7	OFF HOOK ボタン	電話発信します
8	ダイヤルボタン	番号数値や記号を入力します
9	消去ボタン	入力した数値や記号をタッチする度に一つずつ消去します

メモ

・ダイヤルパッドボタンの「0」を長押しすると、「+」入力することができます。

Bluetoothを使う（つづき）

電話帳画面（登録されている電話帳から電話をかける）



	名称	説明
1	戻るボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
4	電話帳ボタン	電話帳画面に切り替えます
5	履歴ボタン	履歴画面に切り替えます
6	Bluetooth 設定ボタン	Bluetooth 機器登録・消去画面に切り替えます
7	電話帳リスト	電話帳をリスト表示します
8	スクロールバー	リストをスクロールします
9	電話帳同期ボタン	電話帳同期を行います

△ 注意

- 電話帳・通話履歴表示は、接続されているBluetooth携帯電話と同期を行う必要があります。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により、同期ができない場合があります。
- 電話帳同期をする場合、携帯電話側の同期設定をONにする必要があります。OFFのまま電話帳同期を行っても同期はできません。
- 携帯電話によっては、ペアリング時に電話帳同期を行うかの確認メッセージが表示される場合があります。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により文字が正しく表示されない場合があります。
- Bluetooth機器の操作方法については、各メーカーへお問い合わせください。
- 本機とBluetooth機器の互換性については、保証しかねます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況により、発信者の電話番号や名前が表示されない場合があります。

Bluetoothを使う（つづき）

履歴画面（発信・着信履歴から電話をかける）



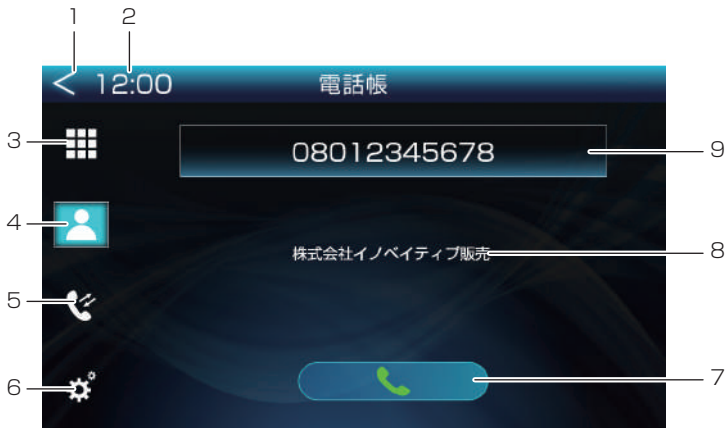
	名称	説明
1	戻るボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	履歴カテゴリーボタン	履歴の種別を選択します
4	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
5	電話帳ボタン	電話帳画面に切り替えます
6	履歴ボタン	履歴画面に切り替えます
7	Bluetooth 設定ボタン	Bluetooth 機器登録・消去画面に切り替えます
8	履歴リスト	履歴をリスト表示します
9	履歴種別アイコン	発信・着信種別アイコンを表示します

△注意

- 電話帳・通話履歴表示は、接続されているBluetooth携帯電話と同期を行う必要があります。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により、同期ができない場合があります。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により文字が正しく表示されない場合があります。
- Bluetooth機器の操作方法については、各メーカーへお問い合わせください。
- 本機とBluetooth機器の互換性については、保証しかねます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況により、発信者の電話番号や名前が表示されない場合があります。

Bluetoothを使う（つづき）

発信確認画面



	名称	説明
1	戻るボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
4	電話帳ボタン	電話帳画面に切り替えます
5	履歴ボタン	履歴画面に切り替えます
6	Bluetooth 設定ボタン	Bluetooth 機器登録・消去画面に切り替えます
7	OFF HOOK ボタン	電話発信します
8	発信先情報表示	発信先の情報を表示します
9	発信先番号表示	発信先の番号を表示します

△ 注意

- 電話帳・通話履歴表示は、接続されているBluetooth携帯電話と同期を行う必要があります。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により、同期ができない場合があります。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により表示文字が正しく表示されない場合があります。
- Bluetooth機器の操作方法については、各メーカーへお問い合わせください。
- 本機とBluetooth機器の互換性については、保証しかねます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況により、発信者の電話番号や名前が表示されない場合があります。

Bluetoothを使う（つづき）

電話をかける場合（発信）

テンキーや電話帳、履歴から選択した番号に発信することができます。発信された場合は以下の発信画面に切り替わります。

△ 注意

- ・ 発信中は、地図画面とBluetooth関連の画面以外には切り替えができません。
- ・ 地図画面からBluetooth TEL画面に戻る場合は[**発信中**]ボタンをタッチしてください。

メモ

携帯電話本体を操作して発信することも可能です。



	名称	説明
1	ペアリング機器情報	ペアリングされている機器情報を表示します
2	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
3	ON HOOK ボタン	発信をキャンセル（終話）します
4	ハンズフリー切り替えボタン	ON：ハンズフリーで通話したい場合 OFF：携帯電話機で通話したい場合
5	発信先情報表示	発信先の情報を表示します

メモ

- ・ 発着信・通話中の音量は本体の[VOL]ボタンで調整することができます。
※通話中の音量と着信／発信中の音量は個別に調整することができます
- ・ 発信中に発信音量を調整した場合、通話切断後、再度発信した場合、音量が初期値に戻ります。
- ・ 本機による音量調整でも調整できない場合は、携帯電話機側の音量を調整してください。
- ・ 無料通話アプリの場合、期待した動作にならない場合があります。これは本機の故障ではなく、各アプリの動作によるものであり、全てのアプリに対して動作保証するものではありません。

Bluetoothを使う（つづき）

電話を受ける場合（着信）

各画面中、着信があった場合、着信画面に切り替わります。

△ 注意

- ・着信中は、地図画面とBluetooth関連の画面以外には切り替えができません。
- ・地図画面からBluetooth TEL画面に戻る場合は[着信中]ボタンをタッチしてください。

メモ

自動着信応答設定がONの場合、着信から数秒経過後に自動的に応答することができます。



	名称	説明
1	ペアリング機器情報	ペアリングされている機器情報を表示します
2	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
3	OFF HOOK ボタン	着信を受けることができます（通話に切り替えます）
4	ON HOOK ボタン	着信を拒否することができます（終話します）
5	ハンズフリー 切り替えボタン	ON：ハンズフリーで通話したい場合 OFF：携帯電話機で通話したい場合
6	着信情報表示	着信の情報を表示します

メモ

- ・発着信・通話中の音量は本体の[VOL]ボタンで調整することができます。
※通話中の音量と着信／発着中の音量は個別に調整することができます
- ・着信中に着信音量を調整した場合、通話切断後、再度着信があった場合、音量が初期値に戻ります。
- ・本機による音量調整でも調整ができない場合は、携帯電話機側の音量を調整してください。
- ・無料通話アプリの場合、期待した動作にならない場合があります。これは本機の故障ではなく、各アプリの動作によるものであり、全てのアプリに対して動作保証するものではありません。

Bluetoothを使う（つづき）

通話中の場合

通話を開始すると、通話画面に切り替わります。

△ 注意

- ・ 通話中は、地図画面とBluetooth関連の画面以外には切り替えができません。
- ・ 地図画面からBluetooth TEL画面に戻る場合は[通話中]ボタンをタッチしてください。



	名称	説明
1	ペアリング機器情報	ペアリングされている機器情報を表示します
2	ダイヤルパッドボタン	ダイヤルパッド画面に切り替えます
3	ON HOOK ボタン	電話を終話します
4	ハンズフリー 切り替えボタン	ON：ハンズフリーで通話する場合 OFF：携帯電話機で通話する場合
5	発信・着信情報表示	発信先または着信の情報を表示します

📖 メモ

- ・ 発信・通話中の音量は本体の[VOL]ボタンで調整することができます。
※通話中の音量と着信／発信中の音量は個別に調整することができます
- ・ 本機による音量調整ができない場合は、携帯電話機側の音量を調整してください。
- ・ 無料通話アプリの場合、期待した動作にならない場合があります。これは本機の故障ではなく、各アプリの動作によるものであり、全てのアプリに対して動作保証するものではありません。
- ・ 通話中、電話回線状況、使用する携帯電話機、通話相手の環境等により、エコー（残響音）が発生する場合があります。その場合、ハンズフリー切り替えボタンによりON/OFF操作を行うことで解消される場合があります。

Bluetoothを使う（つづき）

Bluetooth オーディオソース

本機に接続されたBluetoothオーディオ機器内の音楽データ再生ができます。ペアリングが完了している場合、メインメニューの「Bluetoothオーディオ」ソースを選択すると、Bluetoothオーディオソース画面に切り替わります。

△ 注意

- AVプロファイルの種類やバージョンにより、表示される内容が異なる場合があります。
- ご使用のBluetoothオーディオ機器により、使用できない機能や制限事項があります。
- Bluetoothオーディオ使用中にハンズフリー機能や通信機能を使用すると、一時的にBluetoothオーディオの機能が中断されます。
- 使用する携帯電話機により、Bluetoothオーディオを使用中はデータ通信ができない場合があります。その場合は、一旦BluetoothオーディオをOFFにし、Bluetooth機のオーディオソフト（アプリ）を終了させてからデータ通信を行ってください。
- 接続されているBluetooth機器によって、ファイルの先頭部分が音切れする場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって、再生音が音飛びする場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって、選曲操作後、トラックの先頭の出だしが途切れる場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって、再生やトラックアップ/ダウンなどの操作ができない場合があります。その場合は、接続されているBluetooth機器側から再生の操作を行ってください。
- Bluetooth機器側の仕様や操作については、各メーカーや製造元にお問い合わせください。

基本画面



Bluetoothを使う（つづき）

	名称	説明
1	メニューボタン	メインメニュー画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	電池マーク	Bluetooth 機器の電池状態を表示します
4	アンテナマーク	Bluetooth 機器の電波受信状態を表示します
5	画質調整ボタン	画質調整画面に切り替わります
6	情報表示	ファイル名 / アーティスト名 / アルバム名を表示します ※タグ情報がない場合は、「Unknown」と表示されます ※Bluetooth 機器により、表示が正しくされない場合があります
7	再生 / 一時停止ボタン	再生中は、一時停止（PAUSE）を行います 一時停止中は、再生（PLAY）を行います
8	トラック UP/DOWN ボタン	トラックをアップ／ダウンします
9	Bluetooth 設定ボタン	Bluetooth 機器登録・消去画面に切り替えます

△注意

- 接続されているBluetooth機器によって、情報表示できない場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって、アンテナマークや電池マークが表示されない場合があります。また、表示されても正しく表示されない場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって（機種依存）、再生、一時停止、トラックアップ／ダウンができない場合があります。

画質調整

画質調整

各画面の右上にある画質調整ボタンをタッチすると、画面の画質を調整することができます。

※調整された設定値は全画面共通となります

※走行規制中は各ソース画面の画質調整はできません

画質調整設定方法

基本画面に表示されている[画質調整]ボタンをタッチします。



<画質調整で設定できる項目>

- ・明るさ
- ・コントラスト

<画質調整で設定できる調整範囲>

- ・ 0 ~ +9

画質調整画面解除方法

画質調整画面を解除するには、[画質調整画面解除]ボタンをタッチします。

DUAL MAP（2画面）

2画面機能（テレビ）

本機では、地図画面とテレビ画面を2画面分割表示できる「DUAL MAP」機能を搭載しています。

DUAL MAP対応ソース

- 地図画面と2画面にできるAVソースは以下となります。
 - ※下記以外のAVソースの2画面分割は非対応
 - ・テレビ（ワンセグ）ソース

DUAL MAP設定方法

地図画面に表示されている[DUAL MAP]ボタンをタッチします。



DUAL MAPボタン



①

②

左画面：テレビソース映像画面
右画面：地図画面

DUAL MAP解除方法

DUAL MAP画面中に、以下のボタンをタッチすることでDUAL MAPが解除されます。

- ・①の映像画面をタッチ：テレビソース映像画面（全画面）に切り替わります
- ・②の地図画面をタッチ：地図画面（全画面）に切り替わります

⚠ 注意

- 自車位置が現在地にある場合のみ[DUAL MAP]ボタンが表示されます。
- 地図画面をスクロールしている場合は、[現在地]ボタンをタッチして現在地画面に戻してください。
- DUAL MAP中に本体[MAP]ボタンを押下すると、地図全画面に切り替わります。
- DUAL MAP対応ソース（テレビ）中以外は地図画面の[DUAL MAP]ボタンは表示されません。
- DUAL MAP画面（左右）位置は固定となり、入れ替えることはできません。
- DUAL MAPにした場合、テレビソースの映像画面サイズが自動的に比率に切り替わるため、小さく表示されます。また、画面比率は実際の画面表示と異なる場合があります。
- DUAL MAP中に発着信した場合は、Bluetooth電話の発着信中画面に切り替わります。
- DUAL MAP中にステアリングリモコンの[SRC]キーを押下するとDUAL MAP画面を解除します。
- DUAL MAPへ切り替えるまたはDUAL MAP画面から全画面に切り替える際、一時的に音声途切れますが、故障ではありません。

本体設定

セッティングメニュー

メインメニュー画面の「設定」ボタンをタッチすると、セッティングメニュー画面に切り替わります。



	名称	説明
1	メニューボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	システム設定	本機のシステムに関する設定ができます
4	オーディオ設定	オーディオ機能の設定ができます
5	Bluetooth 設定	Bluetooth 接続の設定ができます
6	カメラ設定	カメラ機能の設定ができます
7	情報	バージョンや本機に関する情報を確認できます

本体設定（つづき）

システム設定

セッティングメニュー画面で「システム設定」を選択すると、本機のシステム設定画面に切り替わります。

システム設定では、本機のシステムに関する各種設定ができます。



	名称	説明
1	メニューボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	各種設定項目	設定内容については、次ページ参照

本体設定（つづき）

システム設定項目

設定項目	機能	設定値
操作音	本機の操作音を鳴動するかを設定します ON：操作音を鳴動します OFF：操作音を鳴動しません	ON OFF
AV消音	ナビガイダンス割込み時に AV 音声を MUTE（消音）するか選択します。 ※OFF の場合の AV 音声は、設定された音量のままとなります	MUTE OFF
ステアリングリモコン	ステアリングリモコンの設定をします	設定画面参照
リアモニター出力	リアモニターへ AV ソースの映像を出力するかを設定します ON：リアモニターへ出力します OFF：リアモニターへ出力しません	ON OFF
ディマー	画面の昼夜切り替えタイミングを設定します 〔イルミ連動〕 車両のイルミ（ライト）を ON にすると、夜モード判定となります 〔時刻連動〕 決められた時刻になると昼夜モードを自動的に切り替えます	イルミ連動 時刻連動 OFF
初期化	本機の設定を全て初期化し、工場出荷状態に戻します ※ナビ機能の設定は初期化されません	—

メモ

- ・リアモニターへ出力できるAVソースはテレビ（ワンセグ）のみとなります。
- ・ディマーの時刻連動は、以下の時刻で昼夜切り替えを行います。

<4月～9月>	<10月～3月>
昼＝6:00～18:00	昼＝7:00～17:00
夜＝18:00～翌6:00	夜＝17:00～翌7:00

本体設定（つづき）

ステアリングリモコン設定

本機は、車両のステアリングリモコンでも一部の操作を行うことができます。
ステアリングリモコンを使用するには、学習機能を設定する必要があります。

▲注意

- ステアリングリモコンを使用するには、ステアリングコントロール線を接続する必要があります。
- 車種によっては、専用のステアリングリモコンアダプター（ケーブル）が必要になる場合があります。
※詳細は販売店にお問合せください
- 車種によっては、機能の割り当てができない場合があります



設定方法

手順1)

本体とステアリングリモコンの接続を確認してください。

手順2)

「設定スタート」をタッチします。

手順3)

画面上に表示されている各機能ボタンをタッチします。

手順4)

割り当てたいステアリングリモコンのボタンを押します。
ステアリングリモコンにお好みの各機能がセットされます。

手順5)

すべて割り当てた後、「設定完了」ボタンを押すと、登録完了となります。

メモ

設定を間違えた場合や設定をクリアしたい場合は、 をタッチして、初めからやり直してください。

本体設定（つづき）

本機で設定可能なボタン（割り当て可能な機能）

- ・ SRC（ソース）ボタン
SRCキーを押下するたびに、有効なAVソースを切り替えます。
※ナビ画面には切り替わりません
※有効なソースのみを切り替え、無効なソースはスキップします
- ・ ミュート（消音）ボタン
音量をミュートします。再度、ボタンを押下するとミュートが解除されます。
- ・ ◀◀/▶▶ボタン
ファイルやチャンネルなどのアップ・ダウンを行います。
※車種によっては、できない場合があります
- ・ VOL（ボリューム）[+] / VOL（ボリューム）[-]ボタン
音量をアップ・ダウンします。
- ・ OFF HOOK（受話ボタン）
Bluetooth電話による着信時、電話を受話することができます。
- ・ ON HOOK（終話ボタン）
Bluetooth電話による発信時または通話中、電話を切断・終話することができます。
※着信中に押下すると、着信拒否します

⚠ 注意

- 車種によっては、操作する際、操作音が不規則に鳴動する場合や操作しても鳴動しない場合があります。
- 車種によっては、ボタン名称が異なる場合があります。

本体設定（つづき）

オーディオ設定

セッティングメニュー画面で「オーディオ設定」を選択すると、本機のオーディオ設定画面に切り替わります。

オーディオ設定では、再生中の音源やスピーカーの数などに応じて、好みの音質に設定することができます。

メモ

- ・ SLA以外の設定値はすべてのAVソースに反映されます。
- ・ SLAの設定値は各AVソースごとにメモリされます。
- ・ オーディオ設定初期化や工場出荷を行うと、メモリされている設定が初期値に戻ります。
- ・ オーディオ設定を行う場合、音量レベルを下げた状態で行ってください。調整により突然、音量が大きく変化する場合がありますので、ご注意ください。
- ・ 音源や車室内の環境（スピーカーの種類や数など）により、効果が得られない場合があります。

本体設定（つづき）

イコライザー設定

各オーディオ画面の「EQ」ボタンをタッチすると、EQ（イコライザー）設定画面に切り替わります。

あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調整したUSERから、曲調や気分に合わせてイコライザーカーブとその効果レベルを選択できます。



	名称	説明
1	メニューボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	EQ ボタン	イコライザー設定画面に切り替わります
4	FAD/BAL ボタン	フェーダー / バランス設定画面に切り替わります
5	LOUDNESS ボタン	ラウドネス設定画面に切り替わります
6	SLA ボタン	ソースレベルアジャスター設定画面に切り替わります
7	設定初期化ボタン	全てのオーディオ設定を初期化します
8	イコライザー種別	以下のイコライザーカーブを選択します USER/JAZZ/ROCK/POP/CLASSIC/NORMAL
9	レベルボタン	レベルを調整します

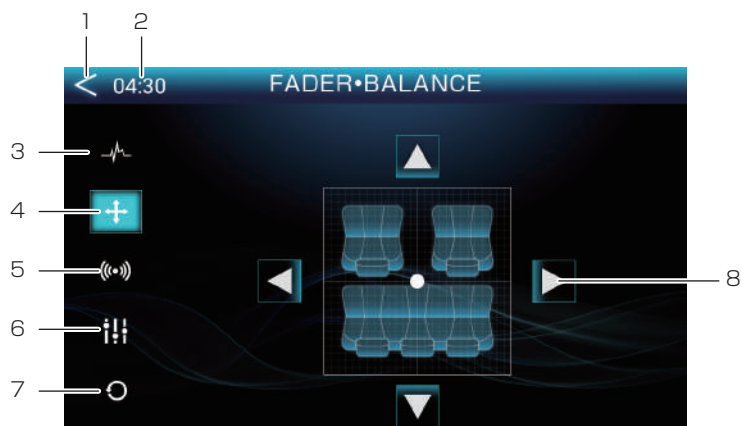
メモ

- ・「USER」を選択すると、お好みのカーブ、レベルに調整することができます。
- ・[設定初期化]ボタンをタッチすると、全てのオーディオ設定が初期化されますので、ご注意ください。

本体設定（つづき）

フェーダー／バランス設定

上下左右の各ボタンをタッチすることで、前後左右のスピーカーバランスを調整することができます。



	名称	説明
1	メニューボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	EQ ボタン	イコライザー設定画面に切り替わります
4	FAD/BAL ボタン	フェーダー / バランス設定画面に切り替わります
5	LOUDNESS ボタン	ラウドネス設定画面に切り替わります
6	SLA ボタン	ソースレベルアジャスター設定画面に切り替わります
7	設定初期化ボタン	全てのオーディオ設定を初期化します
8	FAD/BAL ボタン	調整ボタンで前後左右のバランスを調整します

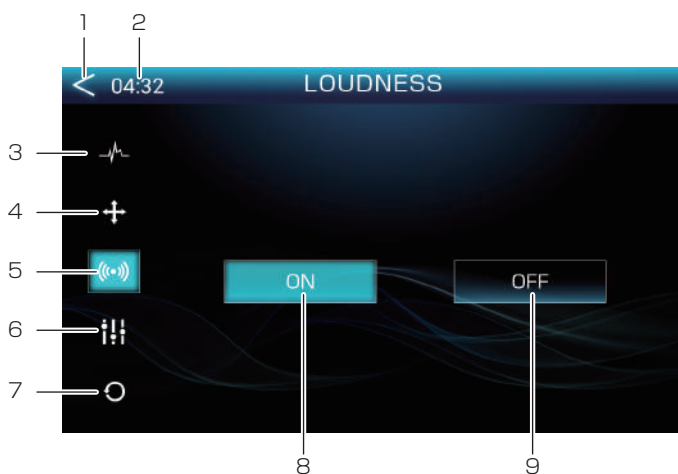
メモ

- ・ [設定初期化] ボタンをタッチすると、全てのオーディオ設定が初期化されますので、ご注意ください。
- ・ FAD/BAL は、四角の枠内をドラッグ操作することでも調整することができます。

本体設定（つづき）

ラウドネス設定

ONにすることで音の輪郭や大きさ、強さを強調します。



	名称	説明
1	メニューボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	EQ ボタン	イコライザー設定画面に切り替わります
4	FAD/BAL ボタン	フェーダー / バランス設定画面に切り替わります
5	LOUDNESS ボタン	ラウドネス設定画面に切り替わります
6	SLA ボタン	ソースレベルアジャスター設定画面に切り替わります
7	設定初期化ボタン	全てのオーディオ設定を初期化します
8	LOUD ON ボタン	ラウドネス効果を ON にします
9	LOUD OFF ボタン	ラウドネス効果を OFF にします

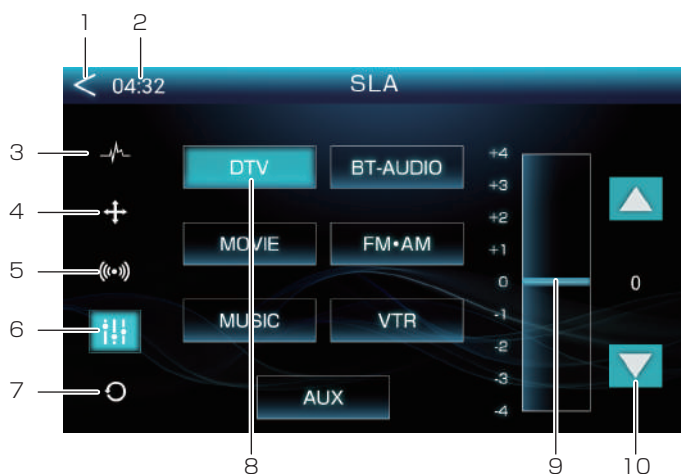
メモ

- ・ 音源や車内環境によって、効果が得られないまたは効果が薄い場合があります。
- ・ [設定初期化] ボタンをタッチすると、全てのオーディオ設定が初期化されますので、ご注意ください。

本体設定（つづき）

ソースレベル設定

AVソースを切り替えた際、ソースごとに音量の差が出ないように、各AVソースの音量の差を揃えることができます。



	名称	説明
1	メニューボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	EQ ボタン	イコライザー設定画面に切り替わります
4	FAD/BAL ボタン	フェーダー / バランス設定画面に切り替わります
5	LOUDNESS ボタン	ラウドネス設定画面に切り替わります
6	SLA ボタン	ソースレベルアジャスター設定画面に切り替わります
7	設定初期化ボタン	全てのオーディオ設定を初期化します
8	AV ソースボタン	設定する AV ソースを選択します
9	レベル表示	レベルを表示します
10	レベルボタン	調整ボタンで上下のレベルを調整します

メモ

- ・ AVソースごとにメモリされますが、同じ設定になるものは以下となります。
＜USB＞USB（MUSIC）、USB（VIDEO）
- ・ [設定初期化]ボタンをタッチすると、全てのオーディオ設定が初期化されますので、ご注意ください。

本体設定（つづき）

Bluetooth設定画面

セッティングメニュー画面で「Bluetooth設定」を選択すると、Bluetoothに関する設定画面が表示されます。



設定項目	機能	設定値
機器登録・消去	Bluetooth 機器の登録や消去、ペアリングの設定をすることができます	—
自動接続	本機を起動したとき、最後に接続していた Bluetooth 機器と自動接続できます	ON OFF
自動検出	Bluetooth 機器を本機から検出（サーチ）できます	ON OFF
自動着信応答	本機の Bluetooth 接続している携帯電話機が着信した際、自動で応答することができます	ON OFF
デバイス名称	本機の自機名称を設定できます	REGE0 AZ-725
デバイスアドレス	デバイスアドレスを表示します	—
パスキー	本機のパスキーを設定できます	1111
BT機器設定初期化	Bluetooth 設定を全て初期化します	—

メモ

- ・パスキーの初期値は「1111」となります。
- ・パスキーを変更した場合は、メモを取るなどして忘れないようにご注意ください。
- ・パスキーが不明な場合は、工場出荷状態に戻してください。

本体設定（つづき）

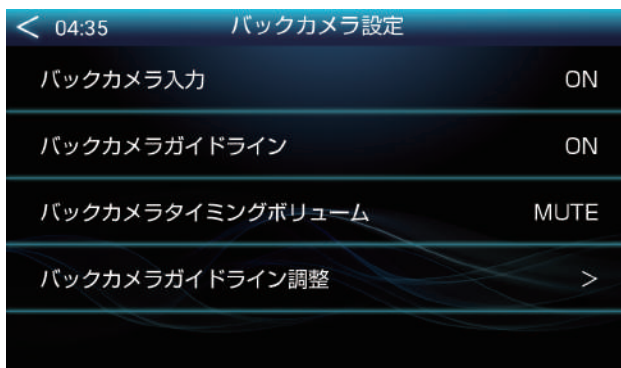
バックカメラ設定

セッティングメニュー画面で「カメラ設定」を選択すると、バックカメラに関する設定ができます。

車両の汎用バックカメラなどを接続して、車の後方の映像を画面に表示できます。

⚠ 注意

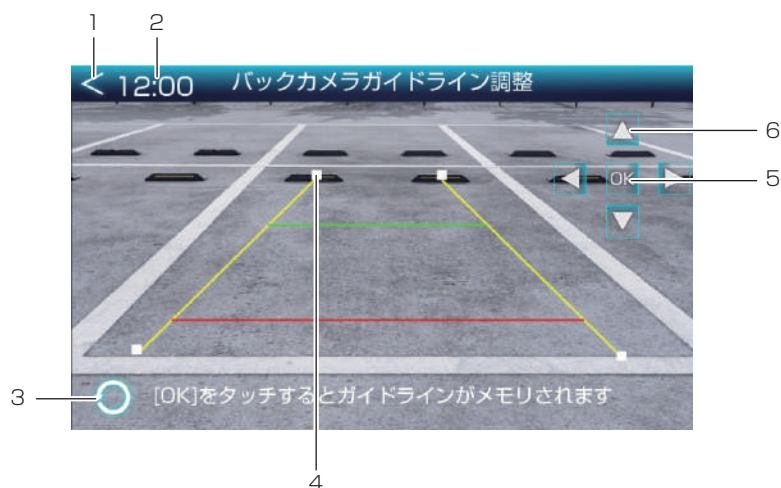
- ・バックカメラを使用するには、別売のバックカメラが必要になります。
 - ・車種によっては、専用のバックカメラアダプター（ケーブル）が必要になる場合があります。
- ※詳細は販売店にお問合せください



設定項目	機能	設定値
バックカメラ入力	バックカメラ映像を表示するかを設定できます	ON OFF
バックカメラガイドライン	バックカメラ映像にガイドラインを表示するかを設定できます	ON OFF
バックカメラタイミングボリューム	リバースギアが ON になった際、AV 音量の出力を設定します。 ※バックカメラ入力設定の [ON/OFF] に関わらず、バック信号線が接続されている場合に有効な設定となります バックカメラ時 OFF：AV 音声は設定されたボリューム値で出力されます MUTE：AV 音声ミュートされます HALF：AV 音声は設定されたボリューム値の約半分の音量になります	OFF MUTE HALF
バックカメラガイドライン調整	バックカメラガイドラインの調整を行うことができます	—

本体設定（つづき）

バックカメラガイドライン調整



バックカメラガイドライン調整設定項目

	名称	説明
1	メニューボタン	一つ前の画面に切り替えます
2	時計表示	時計を表示します
3	設定初期化ボタン	カーソル位置を初期値に戻します
4	調整ポイント	調整したいポイントを選択できます（四力所）
5	OK	設定後にボタンをタッチするとメモリされます
6	上下左右	カーソルポイントを上下左右に動かします

メモ

バックカメラが映し出す範囲は、バックカメラの取り付け位置や取り付け方向によって変わります。

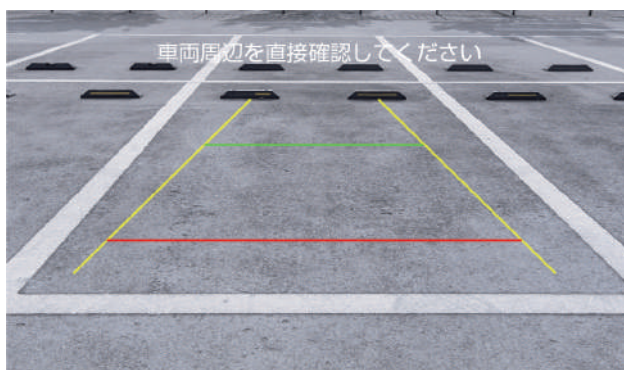
△注意

●バックカメラガイドライン調整画面でバックカメラ映像が表示されない場合は、バックカメラ入力を OFF に設定後、パーキングブレーキ（サイドブレーキ）を引いて、シフトレバーを「R（リバース）」に入れてください。

本体設定（つづき）

バックカメラ映像

シフトレバーをリバース（R）の位置にすると、車両後方の映像に切り替わります。駐車場などで後退するときに表示すると便利です。



⚠ 注意

●後退時は、バックカメラ映像に頼らず、必ず車両周辺を目視して確認してください。

📝 メモ

- ・バックカメラを正常に動作させるためには、バック信号入力 of 接続が必要です。
- ・本機を起動してすぐにシフトレバーをリバース（R）に入れると、カメラ映像が表示されたあと、少し遅れてコーション表示やガイドラインが表示される場合があります。メッセージが表示される前も車両周辺を直接確認してください。

本体設定（つづき）

情報画面

セッティングメニュー画面で「情報」を選択すると、本機の情報画面に切り替わります。



情報画面設定項目

設定項目	機能	設定値
バージョン情報	本機のバージョンを表示します	—
地図データ更新	地図データを更新する場合に使用します	—
システムデータ更新	本機のシステムデータをアップデートをする場合に使用します	—
MCU 更新	本機のドライバをアップデートをする場合に使用します	—

メモ

各更新方法については、画面の指示に従って更新作業を行なってください。

ボリューム操作

ボリューム操作をする

本体のVOLUMEボタンを回すことで、音量調整を行うことができます。

ボリューム調整方法

本体のVOLUMEボタンを回すと、ボリューム調整ができます。
また、ボタンを回すと同時にボリュームプレート（調整画面）が表示されます。
※ステアリングリモコンでも操作可能です



VOLUMEボタン



ボリュームプレート

ボリュームプレートについて

ボリューム調整を行うと、ボリュームプレート（1行）が表示されます。
ボリュームプレート（1行）が表示された際、プレートオープンボタンをタッチすると、ボリュームプレート（4行）表示に切り替わります。
4行表示の場合、「AVソース音量」、「ナビガイダンス音量」、「Bluetooth TEL通話音量」、「Bluetooth TEL着信音量」の調整ができます。

プレートオープンボタン



ボリュームプレート1行表示



ボリュームプレート4行表示

メモ

- ・音量が大きい状態のままエンジンOFFすると、次回起動時に大音量が出力されますので、エンジンOFFする際は、音量を下げてください。
- ・プレート表示内のスライダーを左右にドラッグ操作することでも調整が可能です。
- ・ナビガイダンス音声が入り込んでいる際にボリュームを操作を行うと、「ナビガイダンス音量」の調整を行います。
- ・Bluetooth電話の発信・通話中および着信中にボリュームを操作を行うと、Bluetoothの電話音量の調整画面が表示されます。
- ・Bluetooth電話の着信または発信中に音量を調整した場合、通話終話後や着信拒否後は、次の発信時に大音量になることを防ぐため、Bluetooth電話の着信および発信音量が初期値に戻ります。

SCREEN SHADE

SCREEN SHADE 操作をする

再生音等はそのまま、画面のみを黒画面にしたい場合は、SCREEN SHADE機能を使用できます。夜間など、画面が眩しい時に使用すると便利です。

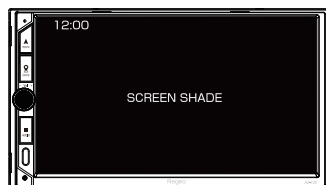
※完全に黒画面にはできません

SCREEN SHADE設定方法

本体の[AUDIO]ボタンを長押しします。

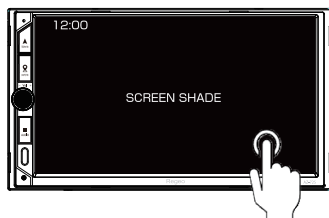


AUDIOボタン



SCREEN SHADE解除方法

SCREEN SHADE状態の画面をタッチすることで、SCREEN SHADE画面を解除し、元の画面を表示します。



メモ

- ・一部のソースでは、薄く映像が表示される場合があります。
- ・SCREEN SHADE中にBluetooth着信が入った場合は、SCREEN SHADE画面を解除します。
- ・SCREEN SHADE中にナビ交差点割り込みやナビガイダンス音声の割り込みが入った場合は、SCREEN SHADE画面状態を維持したままとなります。
- ・Bluetooth通話中、発信中、着信中は、本機能が動作しません。
- ・バックカメラ中は、本機能が動作しません。

取り付け・接続について

取り付け・接続の前に

各配線を接続する前に、以下の注意事項をよく読んで、正しく接続・配線をしてください。また、仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。アンテナ類などは受信状態の良い位置を確かめてから、取り付けを行なってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

接続上の注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディアース（金属部）に確実に接続してください。アースの取り付けに不備があると、車の振動等による突然動作しなくなる可能性があります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流の大きい製品のアースとは別々に接続してください。まとめて接続すると、ネジが緩んだり、外れたりした時に製品の発煙、故障の原因となる恐れがあります。
- アースの取り付け方によって、動作が不安定になる場合がありますので、その場合は、アースの取り付け位置やケーブルの取り回しを確認してください。
- アースを取る場合は、車両の金属部に取り付けをしますが、金属部でない場合は、アース接続となりませんので、金属部であるかをよく確認した上で取り付けをしてください。
- 本機は、エンジンスイッチにACCポジションがない車には使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車で使用ください。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には絶対に接続しないでください。誤って接続すると、車のバッテリーが消耗し、バッテリー上がりの原因となります。
- パーキングブレーキ線は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。
- 必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障の原因となります。
- スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーのマイナスリード線を共通にして接続しないでください。
- 規格以外のスピーカーを使用しないでください。スピーカーやアンプの発火・発煙、破損の原因となります。
- ガラスアンテナ車など、アンテナブースターの電源がある場合、本機の青リード線（アンテナコントロール）を車側のアンテナブースターの電源に接続してください。接続しないと、ラジオ放送の受信ができません。
※アンテナブースターの電源位置は、車種により異なります。詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください
- 各ギボシ端子は確実に接続してください。金属部分が剥き出しにならないようにご注意ください。火災やショートの原因となります。
- 使用しない各ギボシ端子の絶縁処理を行ってください。火災やショートの原因となります。
- エレクトロタップを使用する場合、適切なサイズのエレクトロタップを使用してください。

コネクタ接続の注意

- コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、差し込み口が間違っている可能性があります。
- 無理に接続すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- コネクタを外す場合は、コネクタのロック部を押しながら引っ張ってください。コードのみを無理やり引っ張ると、コード自体が抜けて破損の原因となります。

粘着テープを貼り付ける際の注意

- 両面テープを貼り付ける際は、汚れや油分をよく拭き取ってください。
- 粘着テープの貼り直しは、粘着力が低下するため、おやめください。
- 粘着テープで設置する際は、各種アンテナ類を仮留めをし、各動作を確認した上で行ってください。

取り付け・接続について（つづき）

本体の設置（固定）前に

- 本体の取り付けをする前に、必ず背面の各種コネクタやケーブル等の接続確認（映像や音声の入出力、各種アンテナの動作状況を）をした上で、本体設置をしてください。
全ての取り付けを行った後にケーブル類の未接続があると、再度、取り外さなければならなくなりますので、ご注意ください。

中継パーツを使用する場合

- サービスホールなどを利用してUSB端子を延長（中継）する場合、正しく映像表示や音声出力等ができない場合があります。その場合、中継パーツ等は使用せずに接続をしてください。

ノイズ防止

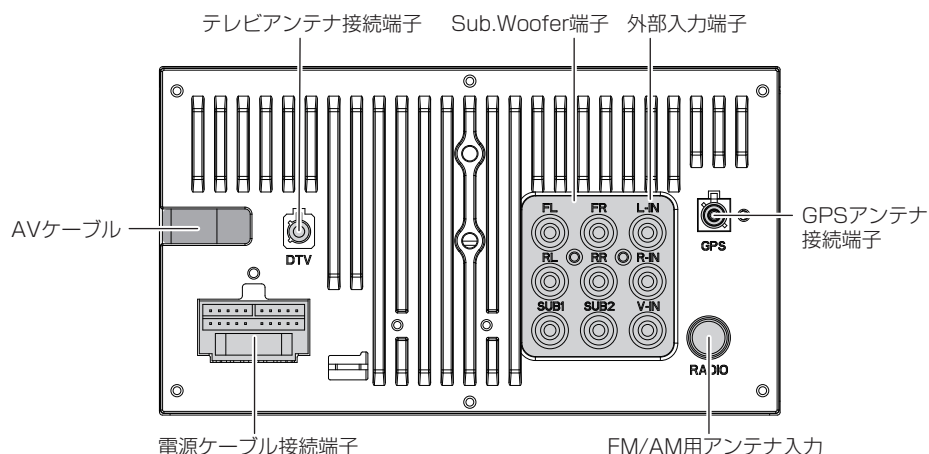
- ノイズ防止のため、次のものは本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して設置してください。
 - ・ DTVフィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - ・ FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - ・ その他、アンテナコード
- アンテナやコード類などは一緒に束ねたり、重ねたり、交差させないでください。
アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと、受信感度が著しく低下したり、映像や音声やノイズが入る場合があります。
- アンテナ等は、ドライブレコーダーやETC、車両の安全運転支援装置類等の機器からできるだけ離して設置してください。
本機または他の機器に影響（ノイズやGPS受信など）が出る可能性があります。

GPSについて

- GPS とは、「Global Positioning System」の略称です。アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。
- トンネル内やビル群、山間部等では、GPS の電波を受信できなくなる場合があります。
また、衛星の受信状態などにより、約 50m～100m 程度の測定誤差が出る場合があります。
- 自車位置は GPS の受信で測位されます。GPS が受信できない場所では、完全な自車位置の測位を行うことはできません。
- 車両のフロントウィンドウガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、GPS 受信に影響が出る可能性や GPS が受信できない可能性があります。
- GPS アンテナは各車載機器（※1）および各アンテナ（※2）からなるべく離れた位置に設置してください。車載機器やアンテナ類の近くに取り付けると、GPS が正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、本機もしくは各車載器が誤動作を起こす原因となる場合があります。そのような場合、各車載器から離して、GPS 衛星の受信に影響のない場所へ設置してください。
※1 ドライブレコーダー、ETC 車載器、地デジチューナー、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機など
※2 TV アンテナ、ETC アンテナなど
- 最後に電源オフしてから自車位置と次に電源オンした地点が離れていた場合、GPS 受信までに時間がかかる場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラ）などを搭載した車両に設置すると、位置によっては衝突回避支援システムからのノイズに干渉し、GPS が測位しづらくなる場合があります。
- ドライブレコーダー本体や地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器から漏れた電波により、GPS を受信できない場合があります。
- 本機のナビゲーション自車位置検知は GPS のみとなります。そのため、ビル群や山間部等では自車位置に誤差が生じる場合があります。
- 自車位置に誤差が生じた際、ルート中にリルート（再探索）がかかる場合があります。
- 地下駐車場やトンネル内、高架下など GPS を受信することができない場合は、正確な自車位置が表示されません。
- 地下駐車場やトンネル内から退出した際、測位するまでに時間がかかる場合があります。

電源・ケーブルの接続方法

接続端子の名称

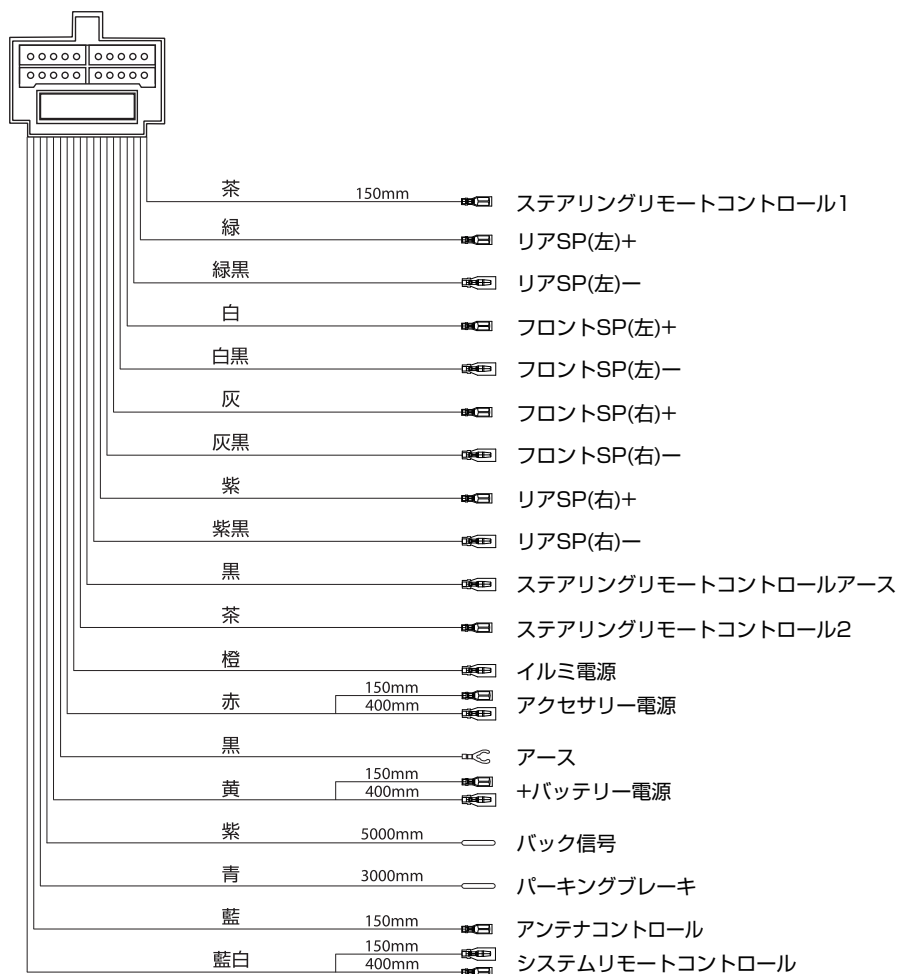
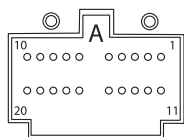


テレビアンテナ接続端子	テレビのフィルムアンテナを接続します（茶色）
Sub.Woofer端子	サブウーファーを使用する場合、ここに接続します
外部入力端子	入力する機器がある場合、ここに接続します
AV ケーブル	マイク入力 付属のマイクを接続します ビデオ出力 リアモニターなどに映像を出力できます バックカメラ映像入力 別売のバックカメラを接続します AUX 入力 別売の AUX 端子を接続します リアオーディオ出力（左 / 右） リアモニターなどに音声を出力できます USB 端子 USB 機器の充電専用ができます（2.0A） 対応している USB メモリを接続することで、USB ソースを使用することができます
電源ケーブル接続端子	電源ケーブルコネクタを接続します
FM/AM用アンテナ入力端子	車載のラジオアンテナを接続します
GPSアンテナ接続端子	GPS アンテナを接続します（青色）

電源・ケーブルの接続方法（つづき）

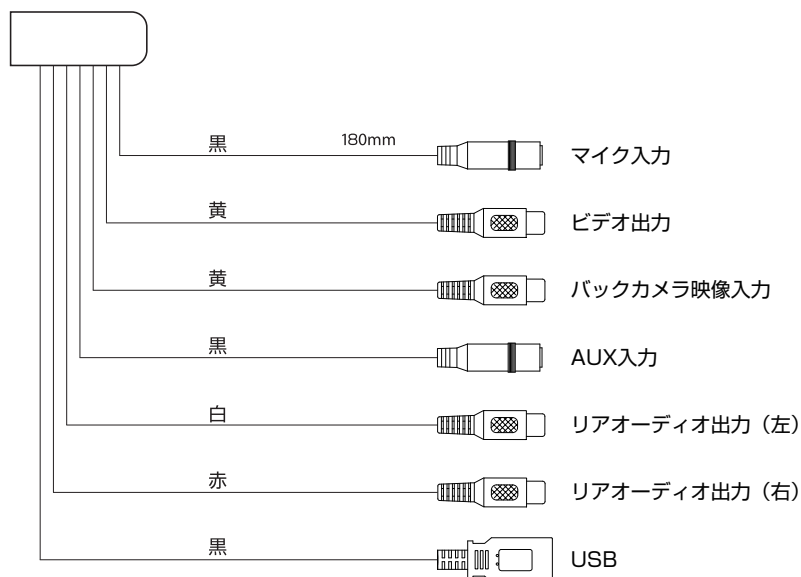
各種ケーブル

電源ケーブル名称



電源・ケーブルの接続方法（つづき）

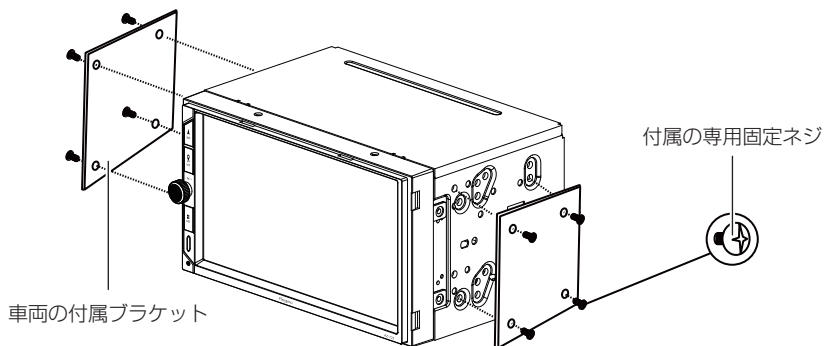
バックカメラ入力/ビデオ出力/USBケーブル



本体の設置方法

本体の設置方法

- 1 車両に付属されているブラケット（金属ステー）のネジ穴に合わせて取付位置を選び、付属の専用固定用ネジで取り付けます。
- 2 車両側の元の取り付け位置に取り付けします。

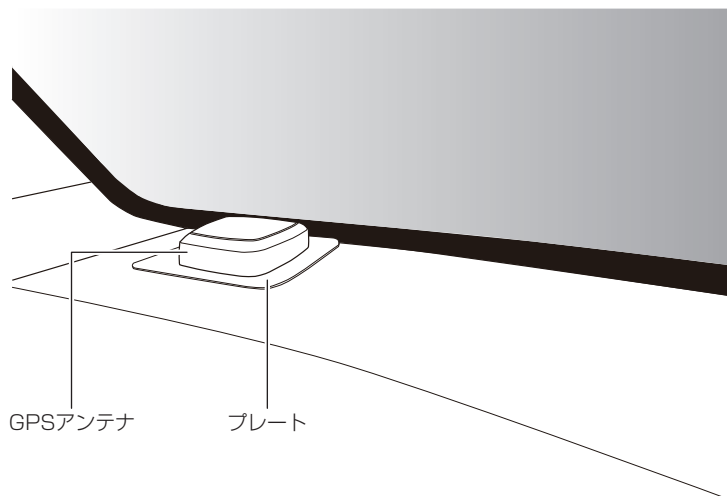


⚠ 注意

- 必ず、本機に付属されているネジを使用して、指定通りに取り付けてください。
- 車種別取り付けキットに付属のネジや純正カーステレオに付属のネジは使用できません。
- 付属以外のネジを使用すると、故障の原因となります。
- 本機を取り付けた後、車種によっては、車両との間に隙間ができる場合があります。その場合は、市販品のブラケットやスペーサーなどで隙間を埋めてください。

GPSアンテナの設置方法

GPSアンテナの取り付け



プレート背面の両面テープをはがし、車両に固定してください。
その後プレートの上にGPSアンテナを設置してください。（マグネットタイプ）

メモ

- ・GPSアンテナは車内専用となります。
 - ・GPSアンテナは車載機器（※1）および各アンテナ類（※2）から50cm以上離して設置してください。
- 車載機器や各アンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず電波を受信しにくくなったり、誤作動を引き起こす可能性があります。

※1 ETC車載器、カーオーディオ機器、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど

※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど

フィルムアンテナの貼り付け位置について

テレビ用フィルムアンテナの取付位置について

テレビ用フィルムアンテナを取り付ける場合は、本体お買い上げ販売店や専門業社にご依頼ください。

⚠ 注意

- 保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条及び細目を定める告示第195条をいいます
※最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください
- フィルムアンテナは、車室内取り付け専用となります。
- フィルムアンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用となります。フロントウィンドウ以外には貼り付けしないでください。
- 熱線やプリントアンテナ上には貼り付けしないでください。ショートや発熱、性能劣化の原因となります。
- フィルムアンテナの取り付け前に車内の内張りを取り外す必要がある場合がありますが、ピラーを外す際、ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両の場合は、絶対にピラーを外さないでください。
フロントエアバッグの誤動作などの原因となり、大変危険です。ピラーを取り外さずにフィルムアンテナを取り付ける方法について、詳しくはお買い上げ販売店にご相談ください。
- 必ず、フロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 車種によっては、取り付けができない場合があります。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合、テレビ受信感度が極端に低下します。
- 必ず、車内の取り付け場所に、市販のテープなどで仮留めをして、エレメントやアンプが貼り付けられることを確認してください。
- フィルムアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- フィルムアンテナは車載機器(※1)および各アンテナ類(※2)から50cm以上離して設置してください。車載機器や各アンテナ類の近くに取り付けると、テレビが正常に機能せず電波を受信しにくくなったり、誤動作を起こす可能性があります。
※1 ETC車載器、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど
※2 ETCアンテナなど
- フィルムアンテナのフィルムやアンプの裏シートを剥がした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗や汚れなどの接触不良の原因となります。
- 他のアンテナから十分離してください。受信感度やノイズの原因となります。
- 他のフィルムアンテナとの干渉を考慮して貼り付け位置を決めてください。
- 一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しはできません。
- 必ず、アンテナケーブルおよびフィルムアンテナを仮留めし、アンテナケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- ガラス面が結露したり気温が低いときは貼りつかなくなります。湿度が高いときはエアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどで貼り付け部分を暖めて、結露しないことを確認してから貼り付けてください。
- フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。

フィルムアンテナの貼り付け位置について (つづき)

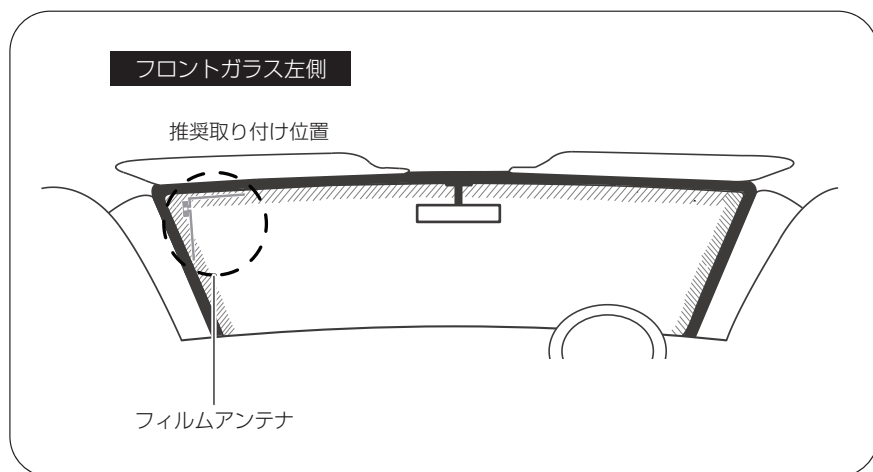
次のようなところでは映像が受信しにくいまたは受信できない場合があります

- ビルとビルの間を走行または停車している場合
- 上空を飛行機または電車が近くを通過している場合
- 送電線の付近を走行している場合
- テレビ局の電波塔から遠いところを走行している場合
- 山かげや木立の陰に入って走行している場合
- トンネル内や鉄橋を走行している場合
- 地下や高架下等を走行または停車している場合
- ラジオ、アマチュア無線/業務用無線の送信アンテナの近くを走行、または自ら発信しているとき
- 車両搭載機器（※）が作動している場合、ノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。
※電動ドアミラー/パワーウィンドウ/エアコン/HIDランプ/電動カーテン/電動サンルーフ/ドライブレコーダー/レーダー探知機/車載用モニターなど

貼り付け位置について

メモ

- ・アンテナは点検シール、検査標章などに重ねないでください。
- ・受信感度低下を防ぐために、他のアンテナやETC受光部から離して貼り付けてください。
- ・アンテナの給電部及びアンプ部は、セラミックラインまたは内張りに重ならないように、必ず貼付許可範囲内に貼り付けてください。



フィルムアンテナの貼り付け位置について (つづき)

貼付許容範囲

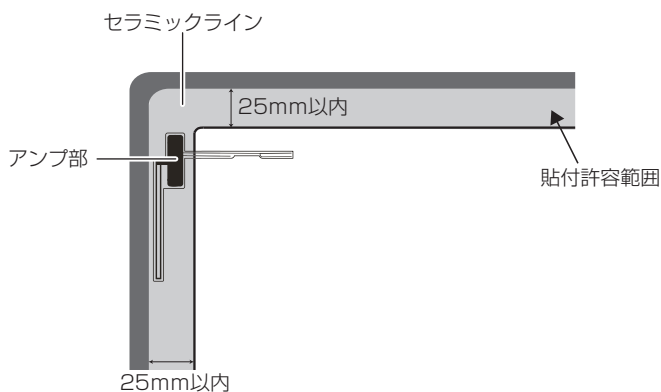
△注意

- ・ 運転に安全な視界を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「アンブ貼付許容範囲」および「エレメント貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると、道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。
- ・ 正しく取り付けを行わないとテレビの受信に影響が出ます。

アンブ貼付許容範囲

フィルムアンテナは、必ずウィンドウの黒い縁（セラミックライン）に貼り付けてください。

フィルムアンテナ



フィルムアンテナを貼り付ける

フィルムアンテナの貼り付け方

必ずお守りください

フィルムアンテナの貼り付け作業をする場合、本体に電源が入ったままの状態では作業をしないで下さい。電源が入った状態でフィルムアンテナの貼り付け作業行くと、電氣的ショートが発生し、アンテナが故障します。
作業する場合は、接続コネクタが本体と接続されていない状態であることを確認してください。

手順1)

フィルムの仮位置を決めます。

手順2)

車内の内張などを取り外します。

手順3)

ケーブルを引回す仮位置を決めます。

手順4)

フロントウィンドウの内側の汚れや油などを取り除きます。

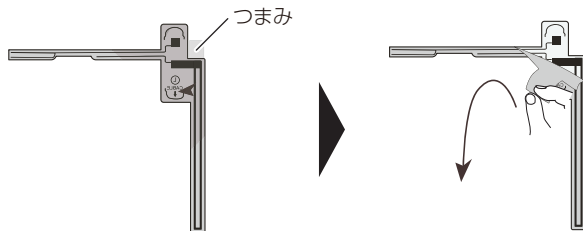
手順5)

フィルムアンテナを貼り付ける場所を十分に乾燥させます。

手順6)

フィルムアンテナ背面テープ余白部分（つまみ）を持って、セパレーターを剥がし、あらかじめ決めた位置に貼り付けてください。

※フィルムの貼り直しはできませんのでご注意ください

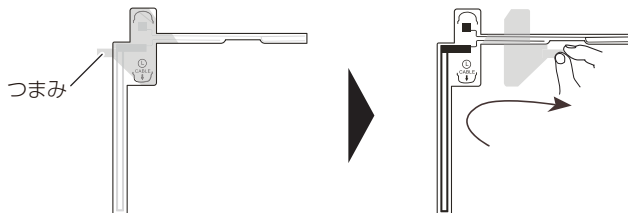


手順7)

フィルムアンテナ全体をなぞるようにして、ガラス面に密着させてください。

手順8)

フィルムアンテナ正面のラベルを持って、セパレーターを剥がしてください。



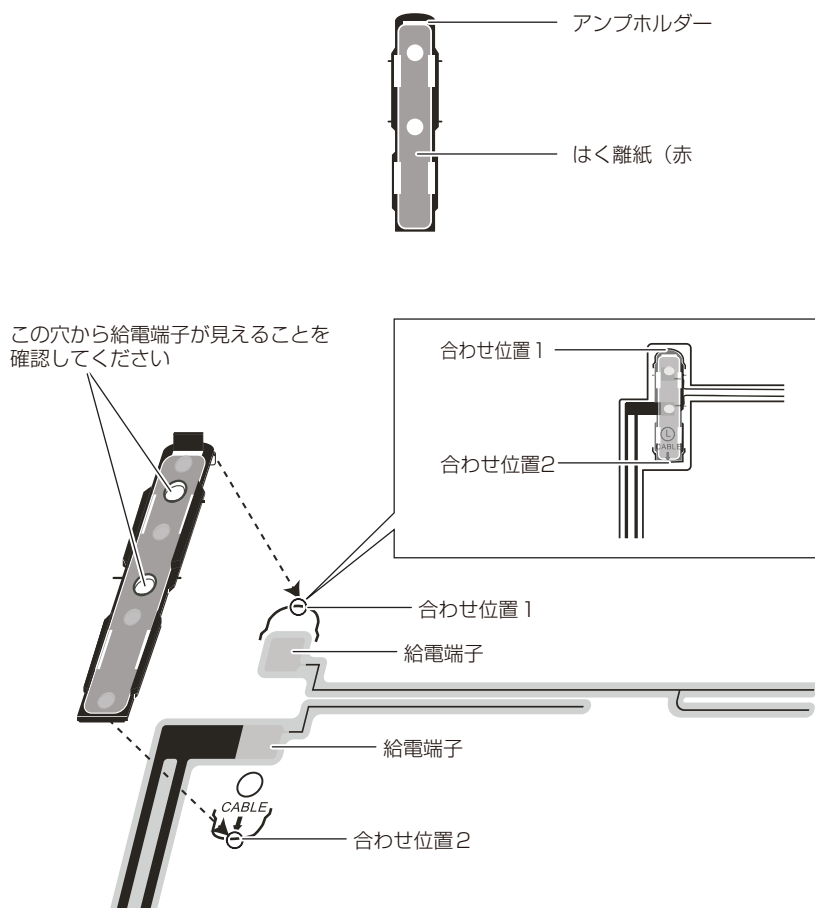
フィルムアンテナを貼り付ける (つづき)

手順9)

アンプホルダーの裏面のはく離紙をはがします。

手順10)

フィルムアンテナの給電端子部にアンプホルダーを貼り付けてください。フィルムアンテナの「合わせ位置1」「合わせ位置2」にアンプホルダーがピッタリと合うように貼り付けてください。



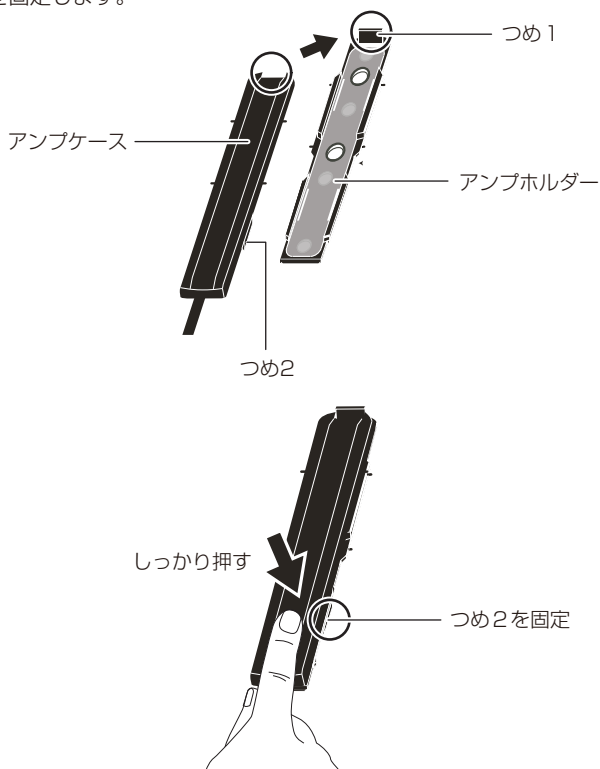
手順11)

アンプホルダーの裏面のはく離紙をはがします。

フィルムアンテナを貼り付ける（つづき）

手順12)

アンプホルダーの「つまめ1」にアンプケースの先端をひっかけ、そこを支点にして「つまめ2」を固定します。



⚠ 注意

- フィルムアンテナとアンプホルダー貼り付け作業時は、本体とアンテナのコネクタが接続されていない状態で作業をしてください。本体通電中（コネクタ接続時）に本作業を行うと、アンテナ自体が破損します。

手順13)

配線処理を行い、テレビアンテナコネクタを本機裏の接続端子へ接続してください。

⚠ 注意

- フィルムアンテナの貼り直しは粘着力が弱くなるほか、アンテナ自体が破損する恐れがあるためおやめください。
- アンテナ線は引っ張らないでください。アンプホルダーに負荷がかかり外れる原因となることがあります。
- ビラーにエアバッグが装着されている車両では、エアバッグの妨げにならないように設置してください。

トラブルシューティング

トラブルシューティング 一般

症状	原因	こうしてください
電源が入らない	● 電源ケーブルは正しく接続されていますか？ ● ヒューズは切れていませんか？ ● 他の機器のノイズを受けていませんか？	● 配線を確認してください ● ヒューズを交換してください ● 本機から他の機器を離してください
音が出ない	● ミュート（消音）になっていませんか？ ● 配線は正しいですか？	● ミュートを解除してください ● 配線を確認してください
音量が小さい	● ボリュームが小さくないですか？	● 音量を上げてください
前または後ろのスピーカーから音が出ない	● 前後のバランスは0になっていますか？	● オーディオ設定の「FAD/BAL」を確認してください
左または右のスピーカーから音が出ない	● 左右のバランスは0になっていますか？	● オーディオ設定の「FAD/BAL」を確認してください
液晶のドット欠け		● 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合がありますが、これは故障ではありません

トラブルシューティング FM/AM

症状	原因	こうしてください
電波が受信できない	● アンテナを接続していますか？ ● アンテナコントロール線は接続されていますか？ ● LOCAL/DX機能は設定していますか？	● アンテナを接続してください ● アンテナコントロール線を接続してください ● 「DX」を選択してください

トラブルシューティング USB

症状	原因	こうしてください
再生できない	● USBは認識されていますか？	● 再度抜き差ししてください
走行規制画面になる	● パーキング線は接続されていますか？	● パーキング線の接続を確認してください
音が出ない	● ボリュームが小さくないですか？ ● ミュート（消音）になっていませんか？	● ボリュームを上げてください ● ミュートを解除してください
音楽ファイルや映像ファイルが再生できない	● フォーマットは正しいですか？ ● PCなどの他の機器で再生できますか？	● 対応フォーマットを確認してください
メディア再生中、順番が異なる	● ファイル名の半角、全角、数字は正しいですか？	● ファイル名を確認してください

トラブルシューティング（つづき）

トラブルシューティング テレビ

症状	原因	こうしてください
テレビが映らない テレビの映りが悪い	● アンテナを接続していますか？ ● アンテナ端子と本体を接続していますか？ ● チャンネルスキャンしていますか？ ● アンテナの貼り付け位置は正しいですか？ ● アンテナと端子はしっかりと接続されていますか？ ● 電波の悪い場所を走行していませんか？	● アンテナを接続してください ● アンテナ端子を本体と接続してください ● チャンネルスキャンをしてください ● 正しい位置に貼り付けてください ● 接点が浮かないように取り付けてください ● 場所や天気、方向により感度は変化します
受信に時間がかかる	● 電源を入れた時やチャンネルを切り替えた時ではありませんか？	● 電源を入れた時や、チャンネルを変えた時には、データ取得のため映像を表示するまで時間がかかります
画面にブロックノイズが出る	● 電車、高圧線、ネオンサインなどから電波の影響を受けていませんか？	● 電波の受けない場所まで移動してください

トラブルシューティング Bluetooth

症状	原因	こうしてください
Bluetooth対応デバイス接続後に 音質が悪くなった	● Bluetooth通信の状態は良好ですか？	● デバイスの場所を移動してください
ペアリングできない	● デバイスが本機に必要なプロファイルに対応していますか？ ● デバイスのBluetooth機能は有効になっていますか？ ● 本機のBluetooth機能はオンになっていますか？	● 他のデバイスで接続状態を確認してください ● デバイスのBluetooth機能をオンにしてください ● 本機のBluetooth機能をオンにしてください

メモ

- ・ Bluetoothは小電力で通信するシステムのため、外部からの影響を受けやすくなります。
- ・ 通信状態が悪い場合、スキャンとペアリングを繰り返すと状況が改善することがあります。

トラブルシューティング ナビゲーション

症状	原因	こうしてください
GPSを受信しない	● GPSアンテナと本体を接続していますか？ ● GPSアンテナ周辺に電波を発する機器が置かれていないですか？	● アンテナを本体と接続してください ● 機器を本体から離してください
音声案内が出ない	● フェリーなどで長距離を移動しましたか？ ● GPSは受信していますか？ ● ボリュームが小さくないですか？ ● 音量指定は正しいですか？	● しばらく走行すると元に戻ります ● GPS状態を確認してください ● ナビガイドダンスのボリュームを確認してください ● ナビの「ルート案内設定」→「ルート案内音」→「音声」になっているか確認してください
ルート検索ができない	● GPSは受信していますか？ ● 検索先の住所は正しいですか？	● GPS受信状態を確認してください ● 本機に登録されていない住所の可能性がります

メモ

ナビゲーションの操作方法については別冊のナビゲーション取扱説明書を参照してください。

本機で利用できるメディアとフォーマット

再生できるファイル、メディアについて

本機では、下記の音楽ファイルおよび映像ファイルを再生できます。

	コーデック	拡張子	USBメモリ
音楽	MP3	.mp3	○
	WAV	.wav	○
映像	AVI	.avi	○
	MP4	.mp4	○

△注意

- ノイズや故障の原因となるため、フォーマットの異なるファイルに上記の拡張子を付与しないでください。
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは再生できません。
- 音声および映像コーデックの組み合わせによって正しく再生できない場合があります。
- ビットレート、サンプリングレート、フレームレートの組み合わせによっては正しく再生できない場合があります。
- ファイルにタグ情報が書き込まれている場合であっても「Unknown」表示または空欄の場合があります。
- ファイルのエンコードおよびライティングソフトにより、正しく再生および情報表示できない場合があります。
- 書き込んだ文字コード情報によって、表示内容が正しく表示されない場合があります。
※本機は Unicode 対応となります
- 一つの MP3 ファイルの中に異なるバージョンの ID3 タグ情報がある場合、v2 を優先します。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- 画像データが格納されているファイルを再生する場合、画像データは表示されません。また、再生するまでに時間がかかる場合があります。
- フォルダやファイルの表示順序は、エンコードしたパソコンやアプリケーションにより、期待したものとは異なる場合があります。
- ファイルのデータサイズにより、再生時の動作が遅延する場合があります。
- サンプリングレートやビットレート、量子化ビット数等により、拡張子が正しくても、全てのファイルが再生できるものではありません。
- プロファイルや対応解像度、フレームレート、ビットレート等により、拡張子が正しくても、全てのファイルが再生できるものではありません。
- USB メモリは、4GB～32GB までおよび FAT16、FAT32、NTFS のフォーマットに対応しています。
- USB メモリは全てのメーカーを保証しているわけではないため、認識しない場合があります。その場合は、USB メモリを交換してください。
- USB メモリの過電流が発生した場合、USB ソースが OFF となる場合があります。
- USB メモリを本機に接続すると、USB メモリ内に「LOST.DIR」というフォルダが自動的に生成されます。これは、システム上の動きであり、故障ではありません。「LOST.DIR」をそのまま残した状態でも使用することができます。
- 映像ファイルの対応解像度およびフレームレートは、1280×720、30fps までとなります。
- 非対応の解像度やフレームレートでファイル再生させると、本機の再生動作が不安定となり、期待した動作にならない場合があります。
- 解像度やフレームレートが対応しているファイルであっても、ファイルサイズやエンコード内容によっては正しく再生されない場合があります。
- 長時間のファイルは正しく再生されない場合があります。
- 映像ファイルが正しく再生されない場合、解像度のサイズを下げる、フレームレートを下げる、コーデックの組み合わせを見直すことで解消される場合があります。

その他

ナビゲーションについて

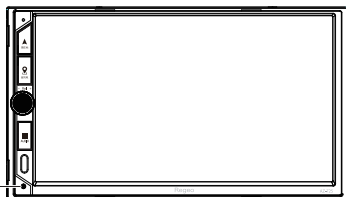
ナビゲーション機能については、別冊のナビゲーション取扱説明書をご参照ください。

本体リセットについて

次のような時は、本機をリセットしてください。

- ・ 正しく動作しない時
- ・ 画面が正しく表示されない時

リセットボタン



USBケーブルについて

本機は、USBケーブルが搭載されています。

1) USBソースのメディア/スマートフォンやBluetooth機器などの充電（2.0A）

メモ

- ・ USBケーブルは取り外し不可となります。
- ・ カードリーダー接続では、USBソースを使用することはできません。
- ・ スマートフォン等をUSB接続してもUSBソースとして使用することはできません。

バージョンアップについて

性能向上のためのソフトウェアアップデート（バージョンアップ）の提供は、弊社ホームページにて、公開いたします。

<ホームページURL>
innovativesale.co.jp/

仕様

仕様

品名	7インチワンセグ内蔵メモリーナビゲーション
型番	AZ-725
ディスプレイ	7型 TFT LEDバックライト（解像度：1024×600 WSVGA）
地上デジタルTV受信周波数	470MHz～770MHz
FM/AM受信周波数	FM：76.0MHz～99.0MHz AM：522kHz～1629kHz
USB	MUSIC/VIDEO ※4GB～32GBまで対応 接続端子1本（メディア/充電 ※2.0A）
SD	—
Bluetooth	○（TEL/AUDIO）※Version5.0
VTR	○（映像/音声入力）※RCA接続
AUX	○（音声入力）※3.5mmミニジャック
Sub.Woofer	○（2系統）
PREOUT	○（L/R2系統）
バックカメラ	○（RCA映像入力対応）
リアモニター	○（RCA映像出力対応）
ステアリングリモコン	○
MIC	○（Bluetooth TEL専用MIC）
使用電源	DC12V
定格電流	2A
定格消費電力	100W
スピーカー出力（最大）	41W×4
スピーカーインピーダンス	4Ω
動作温度範囲	-10℃～+60℃
保管温度範囲	-20℃～+70℃
寸法	約178（W）×100（H）×123（D）mm
本体重量	約920kg

マルチメディア

VIDEO	AVI/MP4
AUDIO	MP3/WAV

付属品

電源ケーブル	1本
GPSアンテナ	1本
GPSアンテナ固定用プレート	1個
フィルムアンテナ	1本
マイク	1枚
取り付け用ネジ	8本
クリーニングクロス	1枚
配線クランプ	8個
取扱説明書（本体）	1冊
取扱説明書（ナビゲーション）	1冊
保証書	1枚

●本機の仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

Regeo

販売元：株式会社イノベティブ販売
〒343-0003 埼玉県越谷市船渡124-1
innovativesale.co.jp/

2025.08(初版)

お問い合わせはサポートセンターへ

お電話でのお問い合わせ



048-970-5027 (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～17:00 (土日祝祭日、弊社休業日は除く)

メールでのお問い合わせ



cs@innovativesale.co.jp